

# 令和2年度 卒業（修了）生 アンケート 結果報告

熊本大学 大学教育統括管理運営機構では、在学中に修得した知識・技能の実社会での有用度や、社会人から見た本学における教育のあり方に対する考え等を把握し、今後の教育改善のための基礎資料とするため本学の卒業・修了生を対象に社会に出て必要とされた知識・技能、現職の状況等についてアンケートを実施いたしました。ここでは、アンケート結果の一部について、簡単にご紹介させていただきます。

## 調査概要

**調査対象：** 2010年度、2015年度、2017年度に本学を卒業・修了した、本学の学士課程卒業生3,967人・大学院課程修了生1,249人

**調査時期：** 令和2年12月15日～  
令和3年1月15日

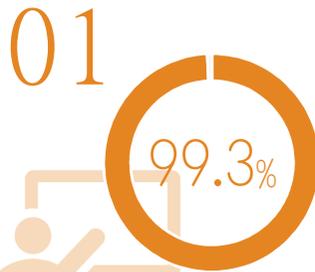
**回収状況：** 学士課程卒業生 331票  
大学院課程修了生 127票



## 働く上で必要とされた知識・技能 BEST3\*

\*「必要だった」「ある程度必要だった」の合計値

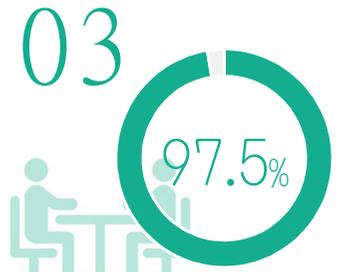
学士課程



人に分かりやすく話す力  
【社会的な実践力】



主体的に学習する態度  
【豊かな教養】



多様な人々と協働する力  
【創造的な知性】

修士・博士課程



主体的に学習する態度  
【高度な専門的知識・技能及び研究力】



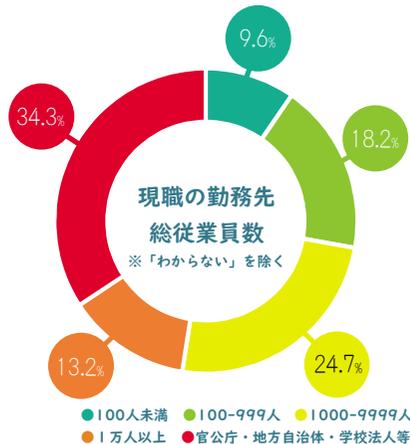
幅広い知識、ものの見方  
【学際的領域を理解できる深奥な教養力】



問題を見つけ、解決方法を考える力  
【学際的領域を理解できる深奥な教養力】

## 現職の企業規模\* (従業員数)

\*卒業生、修了生の回答を合算



卒業（修了）生の現職の勤務先企業規模について調査を行った結果、大学全体で最も多いのは「官公庁・地方自治体・学校法人等」で3割強を占めています。次に多かった回答は「1000-9999人」で、「1万人以上」との回答も全体の1割を超えました。また出身学部(教育部)等によっても回答に差異が見られました。詳細は報告書本紙をご参照ください。(学内のみ公開。)

## 大学院に通う条件\* (学士課程卒業生調査)

\*「非常に重要である」、「ある程度重要である」の合計値



社会人の大学院への就学環境ニーズを把握するため、「在職したまま大学院に通学する条件」について尋ねた設問の分析結果を紹介します。「インターネットなどで授業を配信」については肯定的な回答が極めて高い結果でした。これらの項目と比較して、「夜間の開講」、「教育ローン」に対するニーズは相対的に低い結果でありリカレント教育を推進するためには、社会人の多様なニーズに配慮し環境整備を進める必要があることが今回の調査から改めてわかりました。